

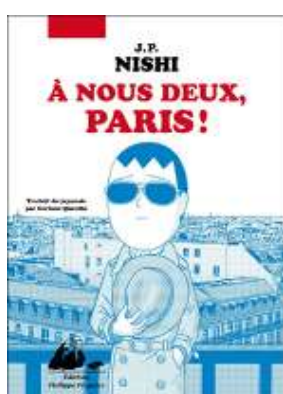
Les Ressources du mois

- Juin 2012 -



Alliance Française de Sapporo
札幌アリアンス・フランセーズ

Le livre du mois



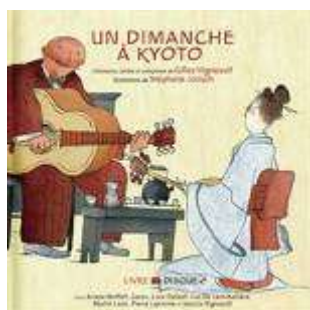
« A nous deux Paris ! » J.P Nishi (2012)

『パリ愛してるぜ〜』

原作：じゃんぼ〜る西

若手日本人漫画家が、ユーモラスかつ皮肉たっぷりに、フランス体験談を描いている。パリでの生活の魅力もそこかしこに散りばめられている。元々日本語の本が今回フランス語になって出版の運びとなった。「ああ、そういうこともあった」とフランスを思い出す方も多いはず。また、パリに行こうと考えている人には、心の準備をするのに、ぴったりの一冊だ。早速、読んでみて！！

A écouter à tout prix !



« Un Dimanche à Kyoto » Gilles Vigneault (2004)

作詞作曲：ジル・ヴィニョー

絵：ステファーン・ジョリシュ

ケベックなまりの歌が楽しいCD付絵本。文化的にみても、とてもためになる本で、数字やアルファベット、そして、異国の文化について等、様々な視点で物事をとらえた楽しい歌がいっぱい。誰でもすぐ歌えそうな簡単なメロディーのものがほとんど。

子どもたち（そして大人たちも！）が、楽しみながらフランス語に慣れ親しむことができる。教材としても役に立つこと間違いなし！

Le film coup de cœur



« Les aventures extraordinaires d'Adèle Blanc-sec »

Comédie réalisée par Luc Besson (2010),

『アデル ファラオと復活の秘薬』

監督・脚本：リュック・ベッソン 原作：タルディ

出演：ルイーズ・ブルゴワン、マテュー・アマルリック

リュック・ベッソン監督・脚本によるアドベンチャー映画。原作は、タルディ作の同名のバンド・デシネ。

1911年、植物園でガラスケースに保管されていた恐竜の卵が孵化、パリの空を怪鳥が飛んでいた。

瀕死の妹を助ける方法を探しに、ファラオの国エジプトへと向かう女性ジャーナリストのアデル・ブラン=セック…。どんな展開が待っているのか？

A découvrir



« Petit vampire va à l'école », Joann Sfar (2004)

『プチバンピ学校へ行く』

絵・文：ジョアン・スファール

プチバンピは、友達が欲しいのだが、学校へ行っても、彼と話すような人は誰もいない。先生さえも…。船長に内緒で、プチバンピは、ミシェル・ドゥーフォンが教室に忘れて行ったノートにメッセージを書いてしまうのだが…。

(この作品は、本だけではなくアニメも日本語に翻訳され、インターネットで1話分無料配信されている)

ジョアン・スファールは、『Chat du Rabbin(ラビの猫)』シリーズに続き、ここでも、その偉大な才能を遺憾なく発揮している。

En français facile



« La petite fille du livre » Nadja (1997)

絵・文：ナジャ

全編美しい油絵で、とても悲しい少女の話が描かれている、子ども向けの絵本。なぜ少女はこんなにも不幸なのか？そして、不幸なままで終わるのか？各ページを彩る絵を鑑賞するだけでも楽しめるので、子どもだけでなく、大人にもぜひ手にとって欲しい1冊！